



まなび舎



伝統ある校舎で

副校長 阿出川 千賀子

早いもので、明日から師走となります。インフルエンザA型の感染拡大が心配されはじめてところですが、「ギャラリーみなと」を開催し、保護者の皆様や地域関係の皆様にも御覧いただく機会をもつことができました。御来校ありがとうございます。（「ギャラリーみなと」の詳細は、次号で御紹介いたします。）

さて、11月1日は本校の開校記念日です。本校は昭和57（1982年）年に東京都立港養護学校として開校しており、今年で42回目の開校記念日を迎えています。本校の沿革をたどってみると、現在使用している本校舎は昭和58年5月15日に竣工し、昭和62年6月30日に3階増築工事が竣工。そして、海側の新校舎の増築工事は平成6年9月8日に竣工し、平成7年には人工芝グラウンドの大改修が行われています。このまなび舎で過ごし高等部を卒業した生徒は1,362名となり、伝統を築いてきました。

10月に、生徒や保護者、地域の皆様に学校評価アンケートへ御協力をいただきました。結果の詳細は改めてお知らせしますが、保護者アンケートにある「学校は、生徒が安全で充実した学校生活を送れるよう、校内の環境整備を行っている」という質問項目において、肯定的評価であるA評価（A～D評価と「分からない」を含めた5段階評価）が昨年度より約18%上昇していました。伝統ある校舎の環境整備については、学校としても苦心しており、今回の保護者アンケートの結果はとても励みになるものでした。

普通科作業学習の「クリーンサービス」では、教室の校内で依頼を受けた清掃業務や検定に向けた基礎練習に取り組んでいます。昨年度から近隣の小・中学部のある特別支援学校へ行き清掃活動を行っています。年末には、ビルクリーニング技能検定に挑戦する生徒も約10名います。職能開発科職業に関する専門教科の「清掃」では、校内の廊下や階段などの共有スペースや特別教室の清掃を、定期的に行っています。玄関のガラス扉もきれいに磨き上げています。校内だけでなく今年度からは学校から近隣の実習先までの地域清掃にも取り組んでいます。普通科・職能開発科ともに、床やガラス等の状態に合わせた清掃方法について学びながら、校舎の環境美化に努めています。清掃活動だけに限らず、普通科の「生産園芸サービス」では花壇の手入れを行い、玄関や駐車場などに彩りを添えてくれます。普通科の「リサイクルワーク」では、地域施設のペットボトル回収にも取り組んでおり、職能開発科の地域清掃とともに、地域の皆様から温かい言葉をいただいています。

師走、年末の大掃除の際には、生徒も教職員も一丸となって、伝統ある校舎に敬意を払い、感謝の気持ちを込めて、整理・整頓・清潔・清掃、環境美化に努めていきます。



職能開発科1年 就業体験

職能開発科 沖山 元

職能開発科1年生は、11月9日(木)、11月13日(月)に第3回就業体験を行いました。近年は、一つの会社で複数業務に携わることが増えてきています。今回見学・体験させていただきました会社も、一つの会社に様々な業務がありました。A社では、執務室内にある会議室清掃の見学後、実際に清掃体験を行いました。B社では、事務業務、カフェ業務、受付業務の作業見学・体験を行いました。生徒達は、見学を通して、作業中も見られていることに気付き、身だしなみや、取り組み姿勢の大切さを教えていただきました。6月から行ってきた就業体験も今回で最後です。6社の仕事を見学・体験させていただくことができました。現地集合を行うことで、生徒たちは通勤経路を確認すること、事前に練習することの大切さにも気付いたのではないかと思います。

今後は、今回の就業体験で一番大切な事として伝えられた「挨拶」「報告・連絡・相談」「身だしなみ」「確認」の力を高め、2月の現場実習に向けて、準備を進めていきます。